

2022年度 日本工学院八王子専門学校

コンサート・イベント科 制作コース

コンサート概論1

| | | | | | | | | | | | |
|------|------|-----|----|------|---|----|--------------------------|-----|----|----|---|
| 対象 | 1年次 | 開講期 | 前期 | 区分 | 必 | 種別 | 講義 | 時間数 | 30 | 単位 | 2 |
| 担当教員 | 八幡一郎 | | | 実務経験 | 有 | 職種 | コンサートプロモーター/コンサートプロデューサー | | | | |

授業概要

コンサートに関する知識を学び、単なる技術者としてだけでなく業界をリードする人材としての知識、能力も身につける。

到達目標

ライブエンタテイメントビジネスを志すことは基本的なエンタテインメント業界の仕組みを踏まえ、幅広くその業界に携わる関係職種や業務を知ることが必須である。基本的なエンタテインメント業界の知識を習得し、音楽業界の核となるプロダクション・レコードメーカー・音楽出版の構造を理解する。

授業方法

ライブエンタテイメントビジネスを志すことは基本的なエンタテインメント業界の仕組みを踏まえ、幅広くその業界に携わる関係職種や業務を知ることが必須である。基本的なエンタテインメント業界の知識を習得し、音楽業界の核となるプロダクション・レコードメーカー・音楽出版の構造を理解する。

成績評価方法

試験と課題を総合的に評価する。授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

履修上の注意

授業開始時に着席し、空欄のノートとシャープペンの芯が出て、すぐ書ける状態でスタンバイをしておく。音楽をはじめとしてエンタテインメントは社会から生まれるものであることから、世の中の動きなどを知るための努力、授業だけではカバーできないエリアなどは、各自義務感ではなく好奇心として捉える癖をつける。他人の意見を否定せず、いったん自分に取り込んで決定する癖を付けていく。

教科書教材

参考書・参考資料等は、授業中に指示します。

| 回数 | 授業計画 |
|-----|--|
| 第1回 | 基礎実習ローテーション①：RIAJリポート「音楽メディアユーザー実態調査」を参照し同世代の音楽の関わりを理解する |
| 第2回 | 基礎実習ローテーション②：アーティスト、プロダクション、プロモーター、イベンターの関係性を理解する |
| 第3回 | 基礎実習ローテーション③：ライブが開催される会場の名称や規模を理解する |

| | |
|------|---|
| 第4回 | 基礎実習ローテーション④：ライブ開催当日の流れについて理解する |
| 第5回 | コース別コンサート概論開始オリエンテーション：年間講義スケジュールを提示し、受講への心構えを理解する |
| 第6回 | ライブ制作の基本①：企画、制作、運営、プロモーションの意義、業務を理解する |
| 第7回 | ライブ制作の基本②：アーティストとプロダクションとの契約について理解する |
| 第8回 | ライブ制作の基本③：ライブ開催の形式、開催目的、著作権に関わる演奏使用料について理解する |
| 第9回 | ライブ制作の基本④：会場押さえ、会場付帯設備、会場使用規約、施設命名権について理解する |
| 第10回 | ライブ制作の基本⑤：アーティストへの出演交渉、各業者の選定、折衝、発注、運営スタッフの手配について理解する |
| 第11回 | ライブ制作の基本⑥：楽屋管理、楽屋受付、関係者受付、ケータリングについて理解する |
| 第12回 | プロダクション業務①：アーティストのキャリア開発、育成について理解する |
| 第13回 | プロダクション業務②：アーティストマネージメント業務について理解する |
| 第14回 | アーティスト資料・楽器研究：アーティスト資料の取り扱い、4ピースバンドで使用される代表的な楽器、機材、音色について理解する |
| 第15回 | ライブセッティング図：ライブセッティング図を作成し、使用目的を理解する |